新日軽　樹脂製竹垣 竹つづり

施工説明書番号 ME-1559
改-1

フェンス自在柱タイプ 施工説明書

この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為この施工説明書をお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

この施工説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。	❗	「必ず行なっていただくこと」を示しています。

⚠注意

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。　防護柵や手すり等として使用しないでください。
- フェンスを揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- フェンスに雨具・洗濯物・布団等を掛けないでください。

❗使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は、使用しないでください。
- フェンスの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。　又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近付けたりしないでください。
- 表面が汚れた時は水洗いしてください。洗剤を使用する際は中性洗剤を水でうすめて使用し、よく水で洗い流して拭きとってください。

樹脂製品のお手入れ方法について

年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。
ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。

汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落し洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

施工上のご注意

当社のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

(1) モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
(2) モルタルやコンクリートの**抽出液**は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品の表面に流れないように注意してください。
(3) モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
(4) 施工時に商品の表面に**付着したモルタルやコンクリート等**は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
(5) アルミ製品と異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
(6) 腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
(7) 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
(8) 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。
(9) 基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
(10) 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。

＊汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

■ 目　次

使用上のご注意について・・・・・・・・・P1
梱包明細・・・・・・・・・・・・・・・・P2
多段納まりの場合のパネル組合せ・・・・P3
異なるデザインパネル上下の組合せ・・・P3
納まり図・・・・・・・・・・・・・・・・P3
組立手順 1 柱の施工（仮固定）・・・・・P4
2 パネルの吊り込み　・・・・・P4～6
3 コーナー継手の取付け・・・・・・・・・・P7
3 パネル端部の納まり・・・・・・・・・・・P8
3 丸竹ジョイント・丸竹キャップの取付け・・・P9
4 柱キャップの取付け・・・・・・・・・・・P9
5 笠竹の取付け・・・・・・・・・・・・・P10
6 フェンスの切り詰め・・・・・・・・・・P11
7 シュロ縄のむすび方・・・・・・・・・・P12

梱包明細

パネル本体

	部材名称	両面･片面	パネル寸法 巾区分	パネル寸法 高さ区分	入数	梱包内容
建仁寺垣	パネル本体	片面	2000用	600用	1枚	パネル①、上部押え竹①、M4×10ナベタッピン3種④
				900用	1枚	
				1200用	1枚	
	笠竹部材		2000用	共通	1本	笠竹①、目隠し割竹①、笠木受け金具④、Φ4×13セルフドリリングビス⑧
	押え竹 ジョイントセット		共通	600用	3個	ジョイント③
			共通	900用	4個	ジョイント④
			共通	1200用	5個	ジョイント⑤
	押え竹 キャップセット		共通	600用	6個	キャップ⑥、ビスセット①
			共通	900用	8個	キャップ⑧、ビスセット①
			共通	1200用	10個	キャップ⑩、ビスセット①
	端部材		共通	600用	2本	端部材②、キャップ②、ビスセット①、施工説明書
			共通	900用	2本	
			共通	1200用	2本	
御簾垣	パネル本体	両面	2000用	600用	1枚	パネル①
				900用	1枚	
			1000用	600用	1枚	
				900用	1枚	
	丸竹ジョイントセット		2000用	共通	4個	丸竹2連ジョイント④、
			1000用	共通	2個	丸竹2連ジョイント②、
	丸竹キャップセット		2000用	共通	8個	丸竹キャップ⑧
			1000用	共通	4個	丸竹キャップ④
	端部材		共通	600用	2本	端部材②、キャップ②、ビスセット①、施工説明書
			共通	900用	2本	
四ツ目垣	パネル本体	両面	2000用	600用	1枚	パネル①、
				900用	1枚	
	丸竹ジョイント 部品セット		2000用	共通	1式	丸竹2連ジョイント部品④、丸竹1連ジョイント部品⑥
	丸竹キャップセット			共通	14個	丸竹キャップ⑭
	端部材		共通	600用	2本	端部材②、キャップ②、ビスセット①、施工説明書
			共通	900用	2本	
金閣寺垣	パネル本体	片面	2000用	600用	1枚	パネル①、上部押え竹①、M4×10ナベタッピン3種④
				900用	1枚	
	押え竹 ジョイントセット		共通	600用	3個	ジョイント③
			共通	900用	4個	ジョイント④
	押え竹 キャップセット		共通	600用	6個	キャップ⑥、ビスセット①、
			共通	900用	8個	キャップ⑧、ビスセット①、
	端部材		2000用	600用	2本	端部材②、キャップ②、ビスセット①、施工説明書
				900用	2本	

自在柱

納まり	部材名称	サイズ 高さ区分	サイズ 段数	入数	梱包内容
ブロック納まり	自在柱	600用	1段	1本	柱①、キャップ①、上下金具各①、裏板①、連結金具②、ビスセット①
		900用		1本	
		1200用	2段(1段)	1本	柱①、キャップ①、上下金具各②、中間金具①、裏板①、連結金具④、ビスセット①
独立納まり		1500用	2段	1本	
		1800用		1本	
目隠しコーナー継手		600用	1段	1本	コーナー継手①、上下金具各②、ビスセット①
		900用		1本	
		1200用	2段(1段)	1本	コーナー継手①、上下金具各④、ビスセット①
		1500用	2段	1本	
		1800用		1本	
ブロック納まり	四ツ目垣専用自在柱	1200用	2段(1段)	1本	柱①、キャップ①、下金具③、上金具①、裏板③、連結金具④、ビスセット①
		1500用	2段	1本	
独立納まり		1800用		1本	

切詰め用端部カバー

部材名称	パネル寸法 巾区分	パネル寸法 高さ区分	入数	梱包内容
建仁寺垣用	片面	600	2本	端部カバー②、押え竹ブラケット(片)①、ビスセット①
		900	2本	
		1200	2本	
御簾垣用	両面	600	2本	端部カバー②、丸竹ガイド④、ビスセット①
		900	2本	
四ツ目垣用	両面	600	2本	端部カバー②、ビスセット①
		900	2本	
金閣寺垣用	片面	600	2本	端部カバー②、押え竹ブラケット(片)①、ビスセット①
		900	2本	

多段納まりの場合のパネル組合せ

全高	高：1200	高：1500	高：1800
段数	2	2	2
必要パネル	1200：600 / 600	1500：600 / 900　1500：900 / 600	1800：900 / 900　1800：600 / 1200

※h:1200のパネルは、建仁寺垣パネルのみ。

異なるデザインパネル上下の組合せ

下段＼上段	建仁寺垣	御簾垣	金閣寺垣	四ツ目垣
建仁寺垣	○	×	○	×
御簾垣	○	○	○	○
金閣寺垣	○	×	○	×
四ツ目垣	○	○	×	○

※パネル上下の組合せは、出来るパターンと出来ないパターンがあります。上記の○は可、×は不可

納まり図

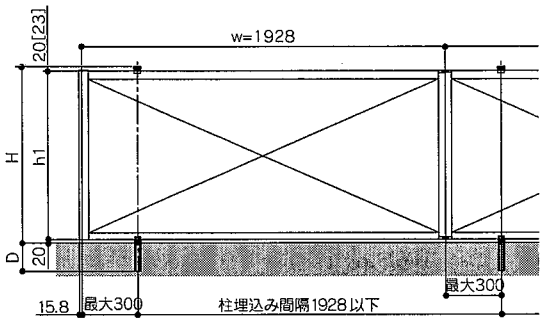
注）
- [ ]内寸法は、建仁寺垣パネル高さ区分h1200のパネル使用の場合の寸法を表す。
- パネル高さ区分h1200は建仁寺垣のみ。

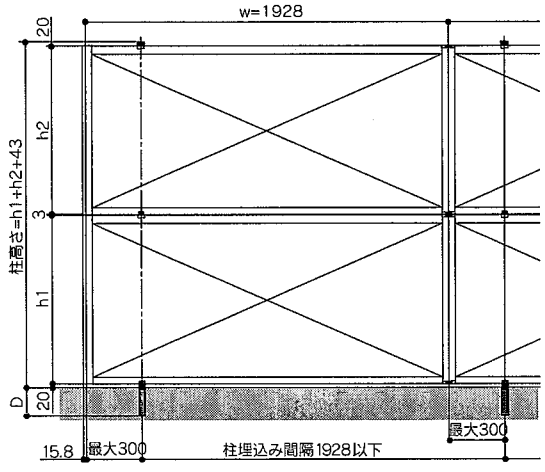
パネル一段仕様

呼称サイズ	パネル本体h1	柱高さ(H)	埋込みD	備考
H:600	600	640	150	
H:900	900	940	150	
H:1200	1200	1243	190	建仁寺垣のみ

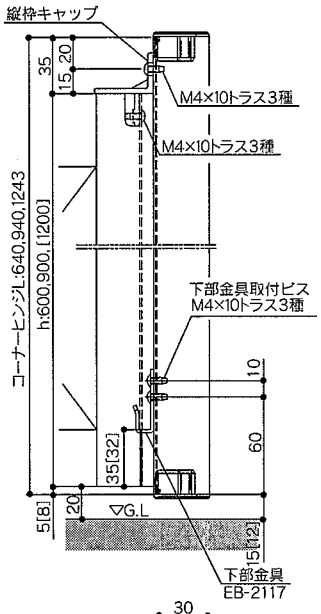
パネル二段仕様

呼称サイズ	パネル本体h1	パネル本体h2	柱高さ(H)	埋込みD	備考
H:1200	600	600	1243	190	建仁寺垣除外
H:1500	900	600	1543	300	
H:1800	1200	600	1843	300	建仁寺垣のみ
	900	900			建仁寺垣除外

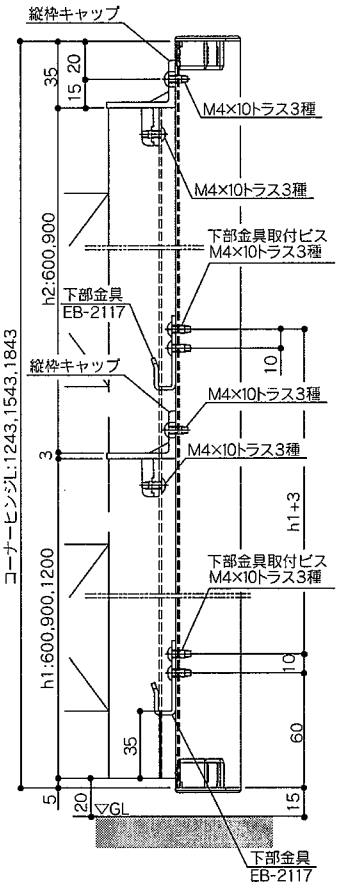


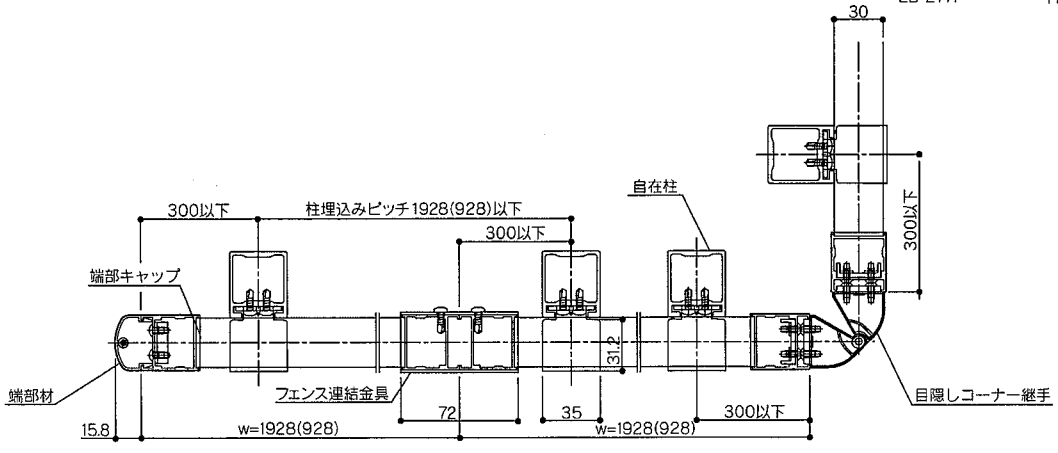


コーナー部パネル
1段納まり詳細



コーナー部パネル
2段納まり詳細





組立手順

1 柱の施工(仮固定)

⚠ 注意

- 自在柱施工の際、フェンス固定用上部金具、下部金具と建仁寺垣の押え竹ブラケット、(P10の上の図参照)御簾垣・四ツ目垣の丸竹、およびフェンス連結金具が干渉しない様注意して柱の位置決めを行ってください。
- 柱を埋め込む前に、右図に従って下部金具を柱に取付けてください。
- コンクリート打設後は、下部金具が付かない場合があります。

ブロック施工仕様 独立施工仕様

1) 右図を参考に柱を埋込んでください。
埋込み深さは、P3納まり図を参照してください。

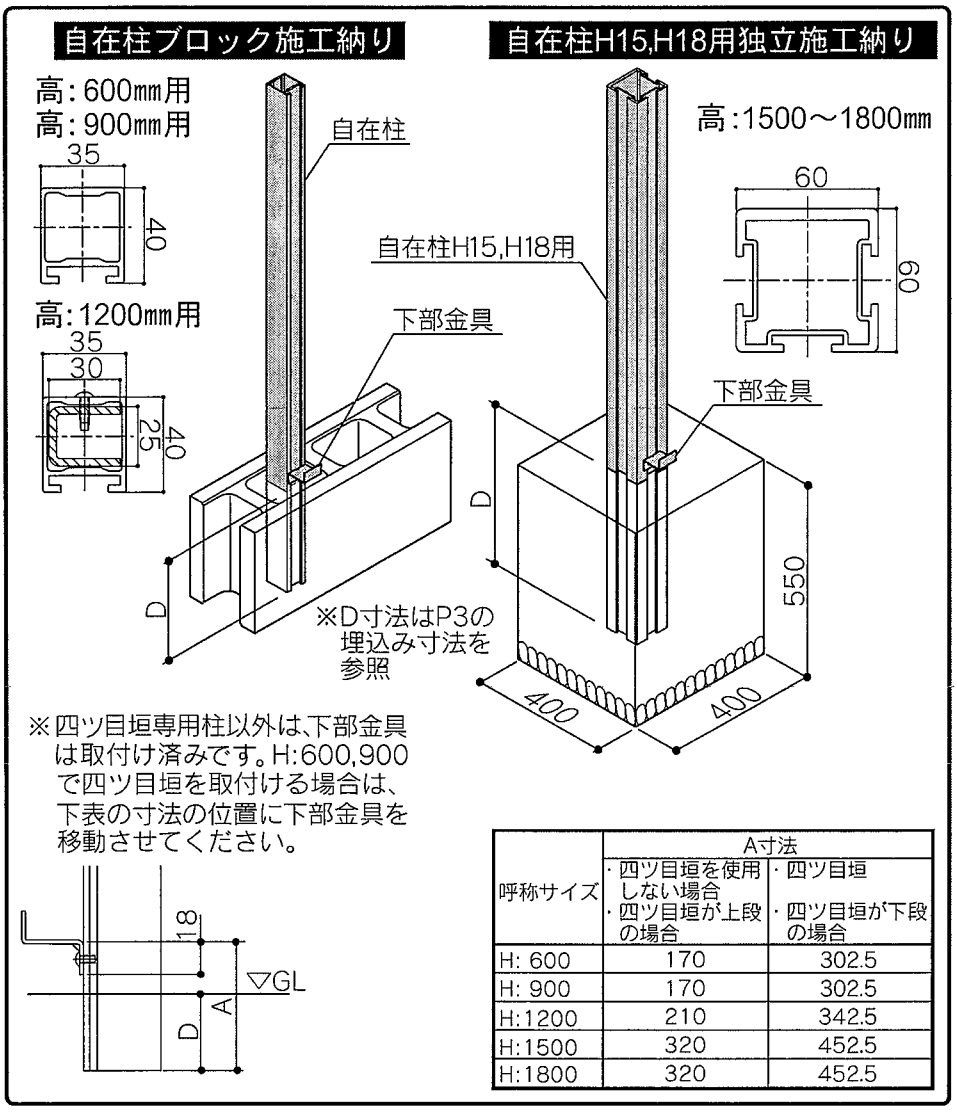
ブロック施工、埋込施工共コンクリート打ちはパネル吊り込み後、位置を決めてから行ってください。

2 パネルの吊り込み

パネル1段施工の場合

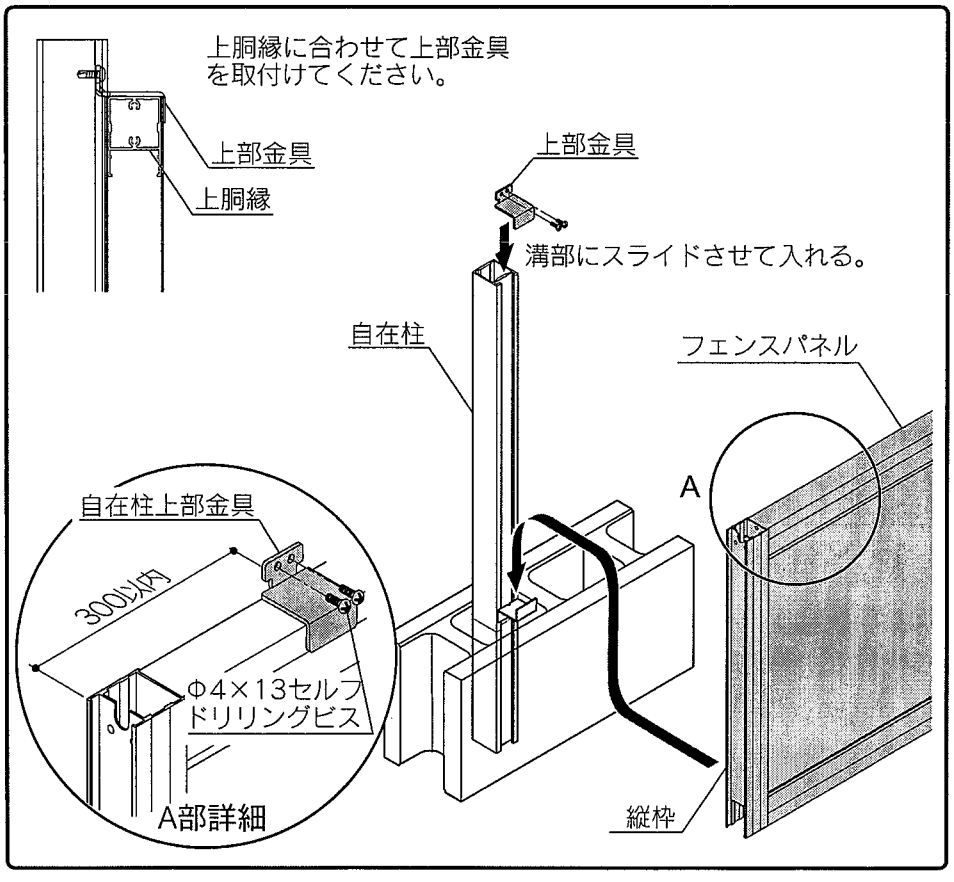
1) フェンスパネルを下部金具に載せ、位置を決めてから上部金具を取付けてください。

- 取付けは、柱から縦枠端部まで300㎜以内にしてください。
- コーナー部がある場合は、コーナー側からパネルを吊り込んでください。

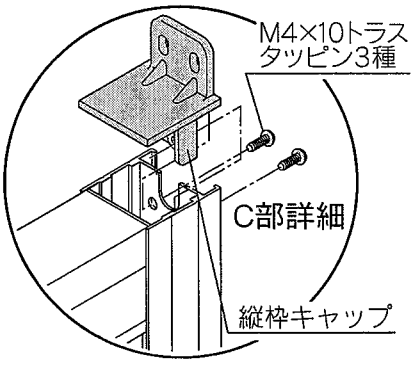


※四ツ目垣専用柱以外は、下部金具は取付け済みです。H:600,900で四ツ目垣を取付ける場合は、下表の寸法の位置に下部金具を移動させてください。

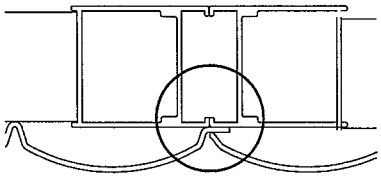
呼称サイズ	A寸法	
	・四ツ目垣を使用しない場合 ・四ツ目垣が上段の場合	・四ツ目垣 ・四ツ目垣が下段の場合
H: 600	170	302.5
H: 900	170	302.5
H:1200	210	342.5
H:1500	320	452.5
H:1800	320	452.5

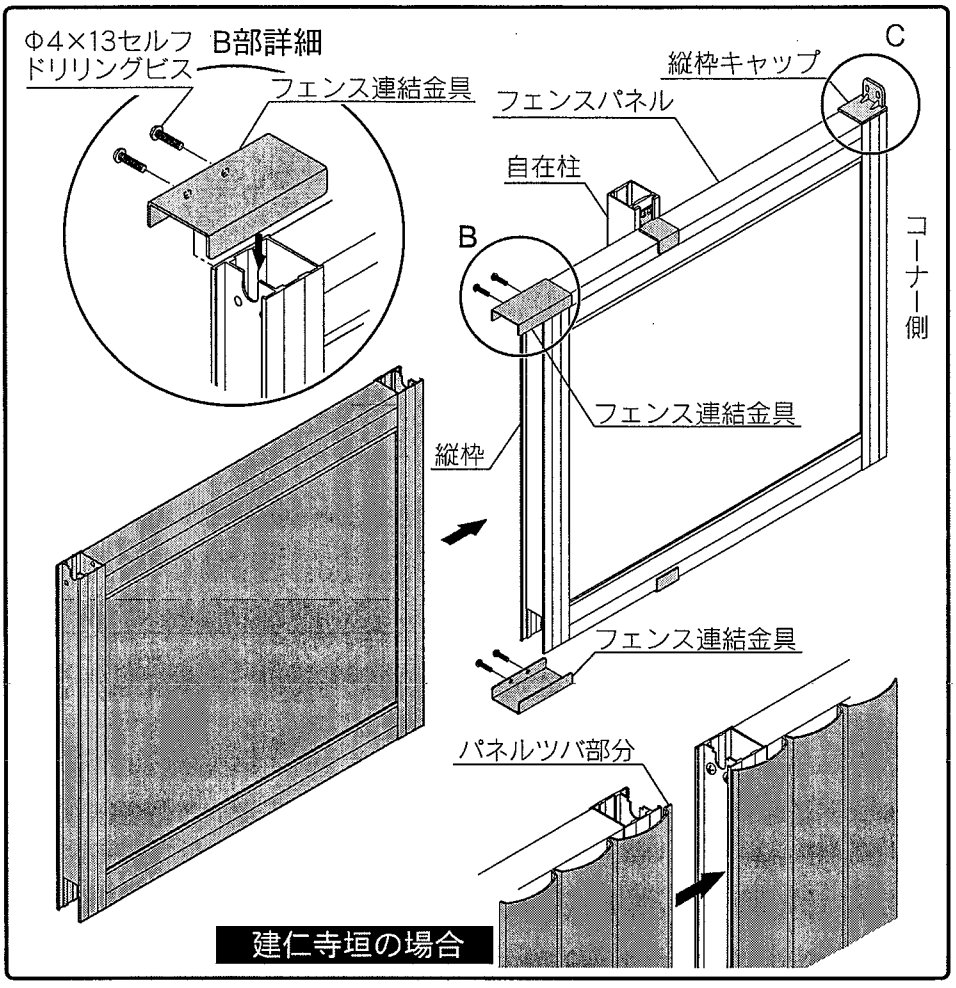


2) パネル縦枠に、パネル連結側にはフェンス連結金具を上下に、コーナー継手を取付ける場合は、縦枠キャップを取付けてください。



建仁寺垣の場合、パネル連結時にパネル端部のツバ部分を反対側のパネルにのみ込ませてください。

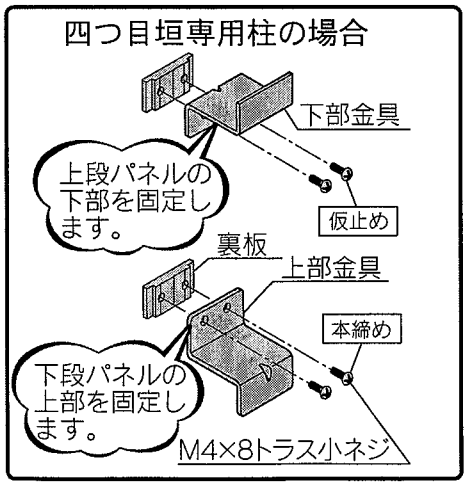


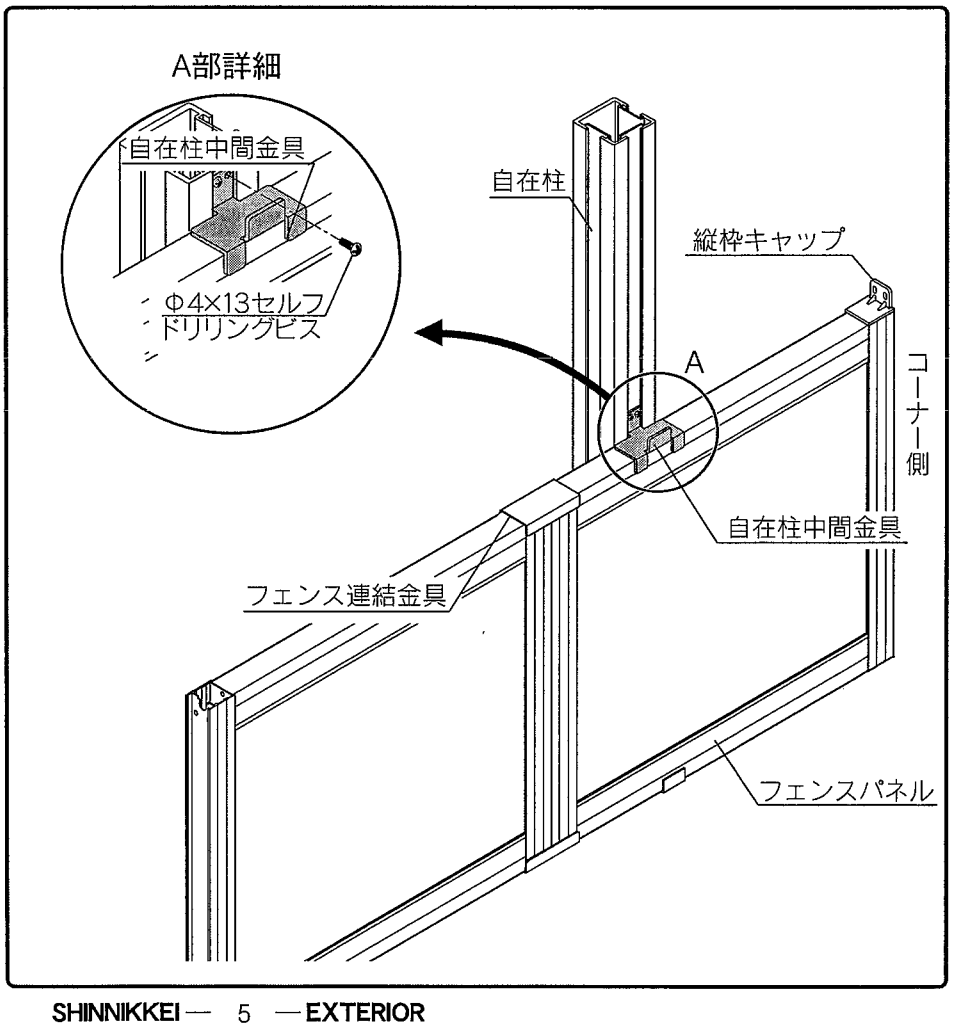


パネル2段施工の場合

1) P4の[2]-1)・2)の手順で1段目のパネルを取付けますが、上部金具は中間金具を使用してください。

四ツ目垣専用柱の場合、下図を参考に金具を取付けてください。上部金具は、下部金具を反対にして用います。
取付けした状態は、P6の下の図を参照してください。



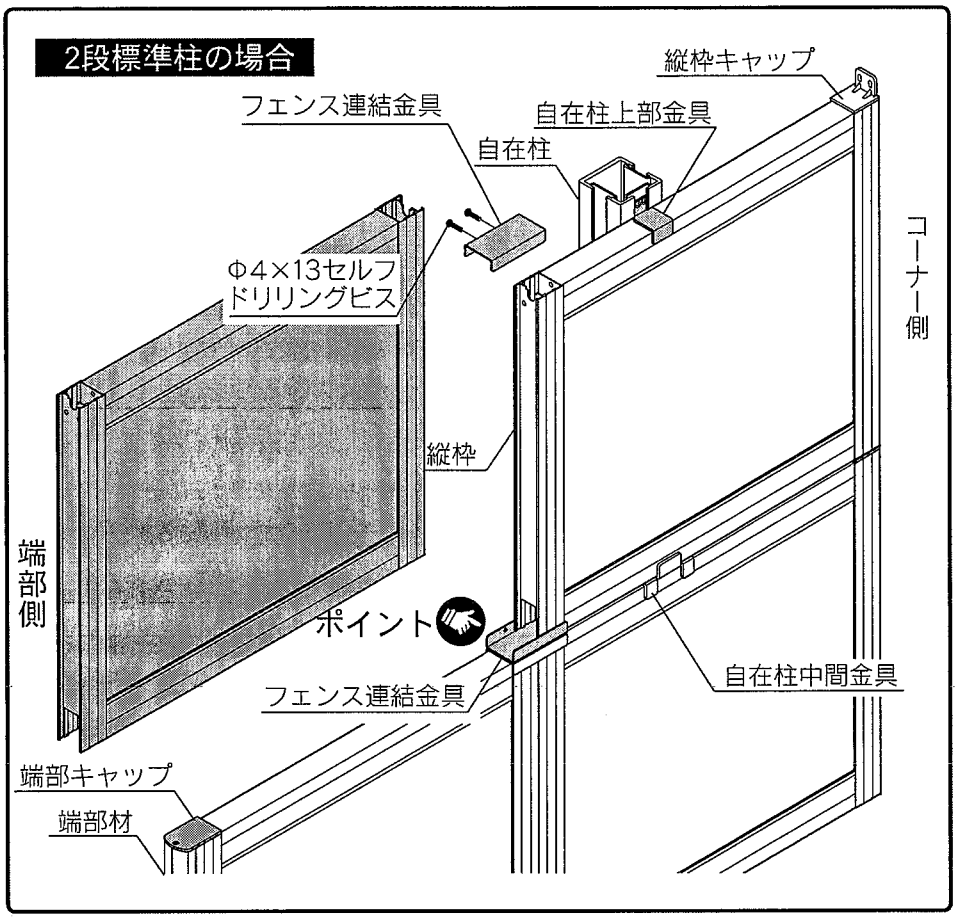


2) 2段目のフェンスパネルを中間金具に載せ、上部金具を取付けてください。

ポイント

2段目下部のパネル連結金具は、先に取付けてください。
また、御簾垣と四ツ目垣の場合は2段目のパネル下部に丸竹ジョイントを先付けしてください。P9参照

パネル2段仕様の場合は、1段目の端部材と端部キャップを2段目を取付ける前に、取付けてください。
取付け方法は、パネル端部の納まり(P8)を参照してください。



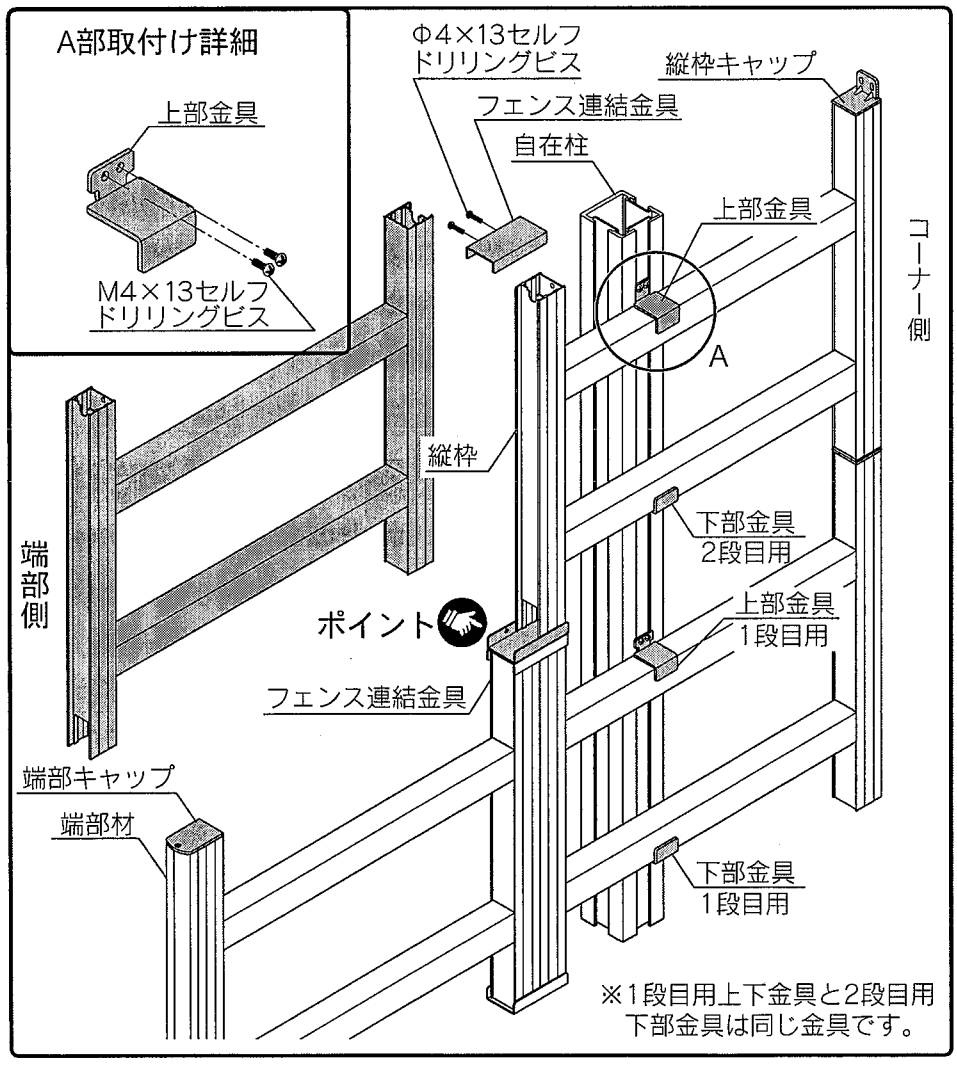
四ツ目垣専用柱の場合

1) P4に従って下部パネル用下部金具を取付けてください。
2) 1段目用上部金具と、2段目用下部金具を柱の溝にスライド挿入し、1段目パネルを固定してから2段目用下部金具をあらかじめ仮固定してください。(P5の下の図参照)
3) 2段目のパネルを載せ、位置を決めてから2段目用下部金具を本締めしてください。
4) 2段目上部金具を溝にスライド挿入し、パネル上部の胴縁に合わせて固定してください。

ポイント

2段目下部のパネル連結金具は、先に取付けてください。

御簾垣、四ツ目垣を2段に取付ける場合、丸竹ジョイントを取付けてください。
取付けの詳細は、P9参照

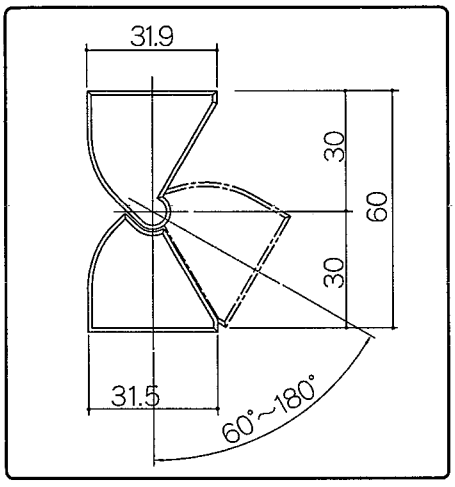


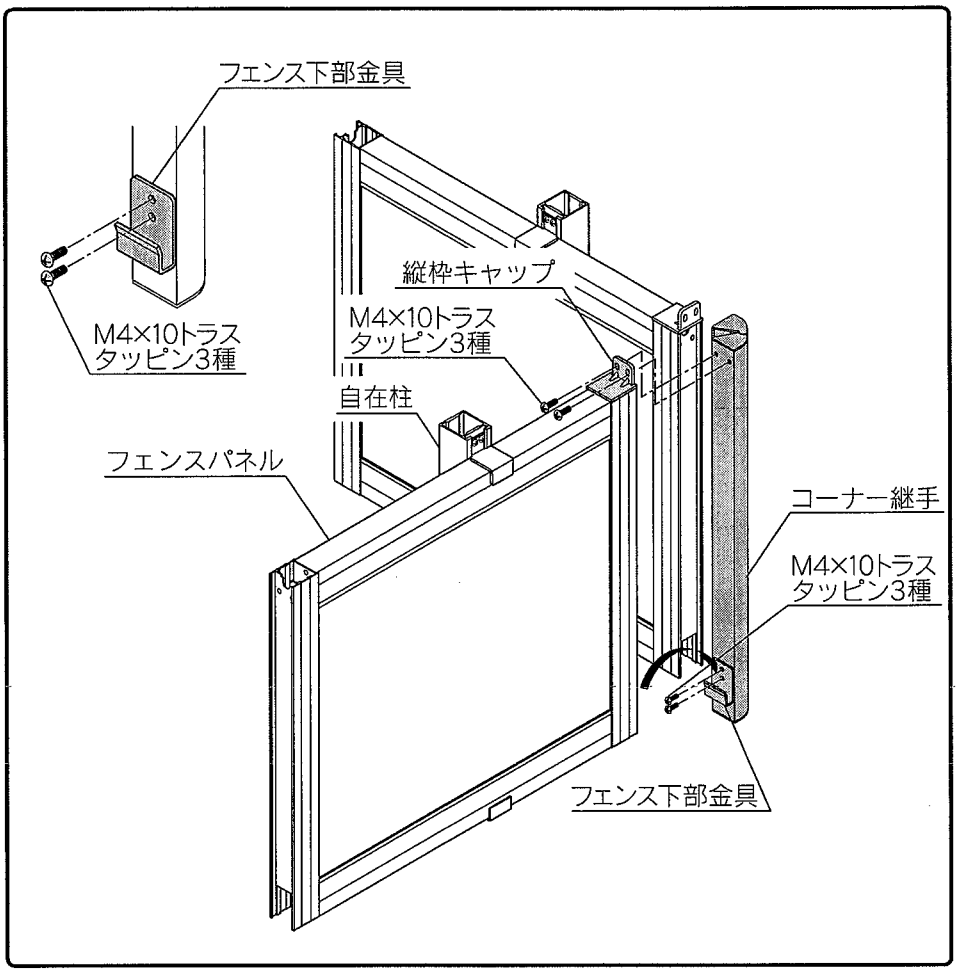
3 コーナー継手の取付け

パネル1段の場合

1) コーナー継手下部に下部金具を取付けてください。

2) パネルをコーナー継手に取付けられたフェンス下部金具に差し込み、縦枠キャップと継手をM4×10トラスタッピン3種にて固定してください。





パネル2段の場合

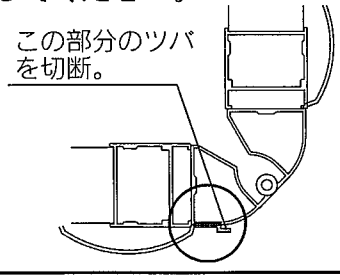
1) 1段目のパネルと同様に、継手に下部金具を取付け、2段目のパネルを差し込んでから縦枠キャップと継手をビス止めしてください。

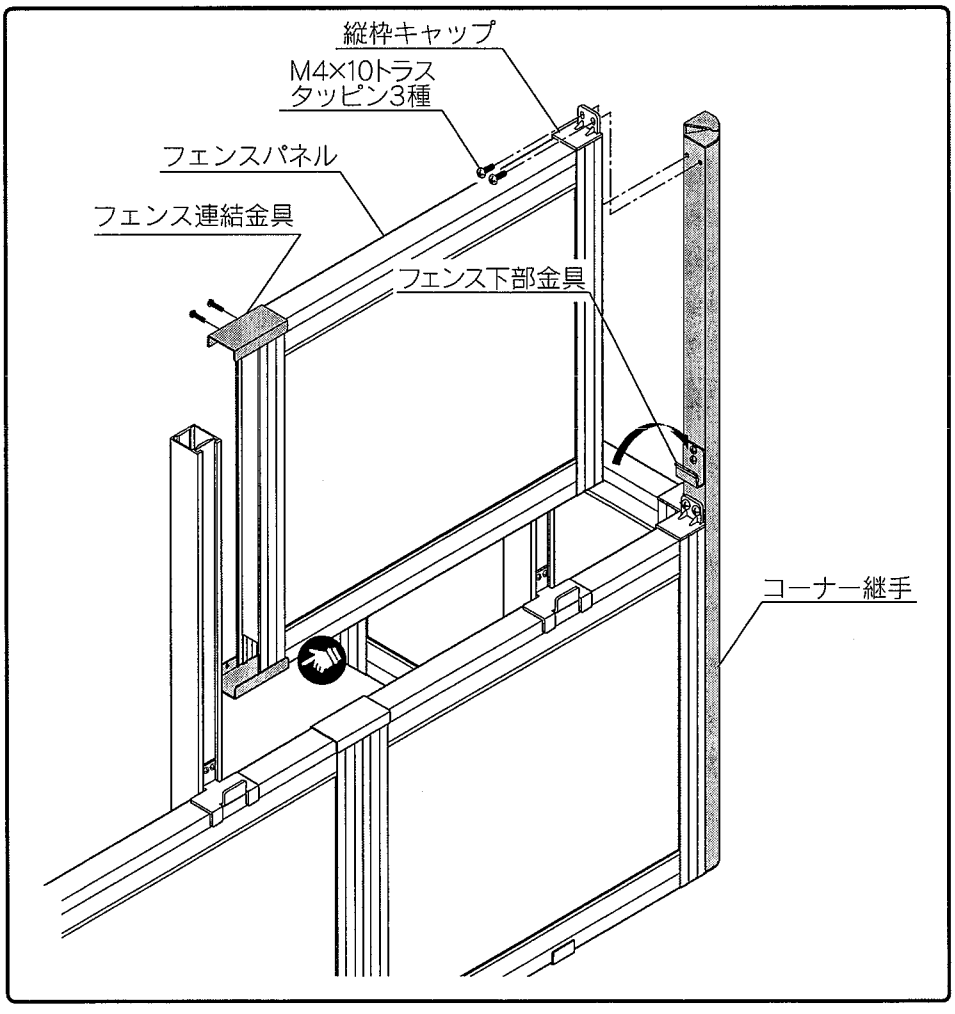
ポイント

パネル2段施工の場合(P6)と同様にパネル連結側は、連結金具を取付けてください。
2段目下部のパネル連結金具は、先に取付けてください。

!

建仁寺垣の場合パネル端部のツバをカッター等で切断してください。

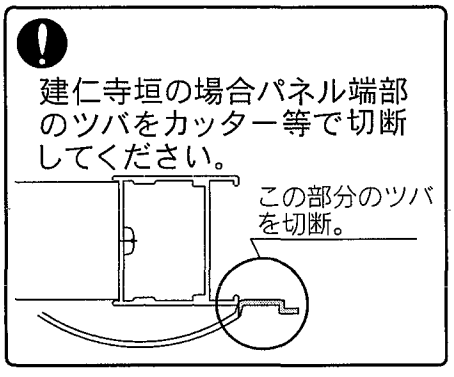


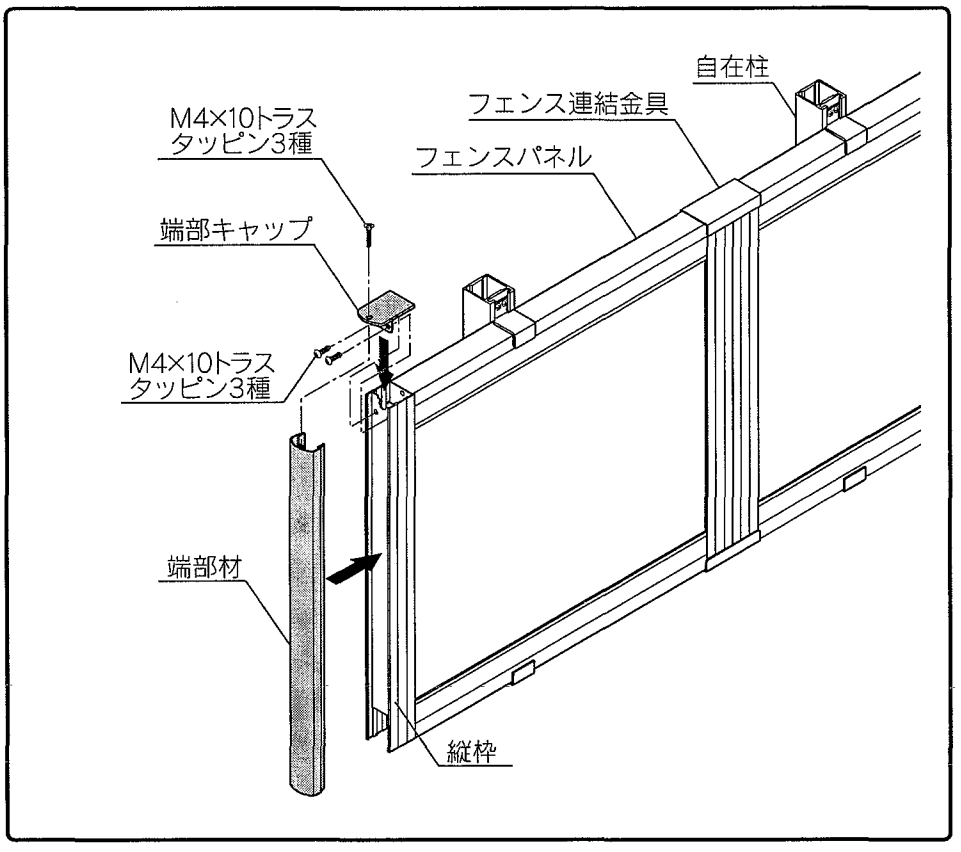


パネル端部の納まり パネル1段の場合

フェンスパネルが連結しないパネル端部は、図の様に端部材を取付けてください。

1) 端部キャップを縦枠上部に取付けてください。
2) 端部材を縦枠に嵌め込み、端部キャップの皿孔にM4×16皿タッピン3種にて固定してください。

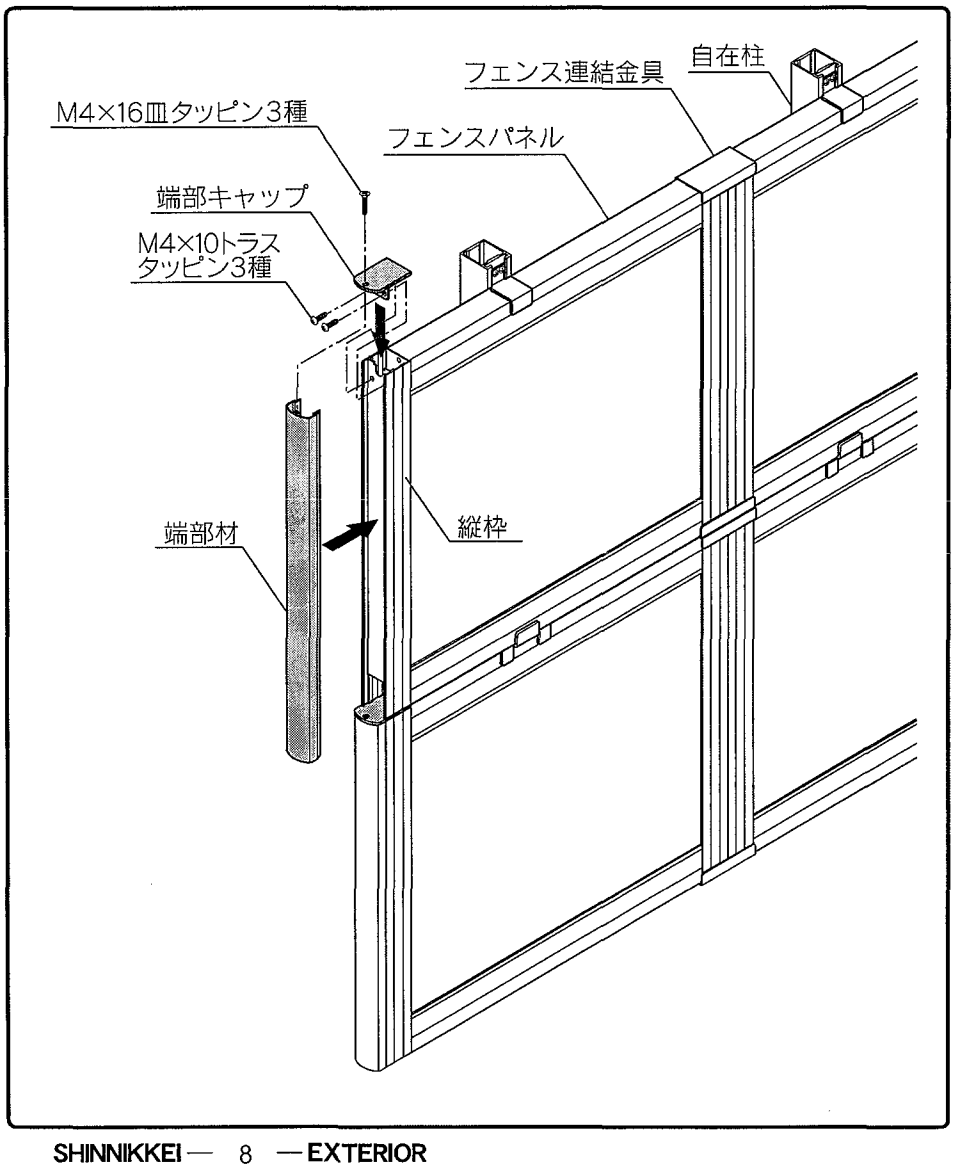




パネル2段の場合

1) 1段目と同様に、端部キャップを縦枠上部に取付けます。

2) 端部材を縦枠に嵌め込み、端部キャップの皿孔にM4×16皿タッピン3種 にて固定してください。

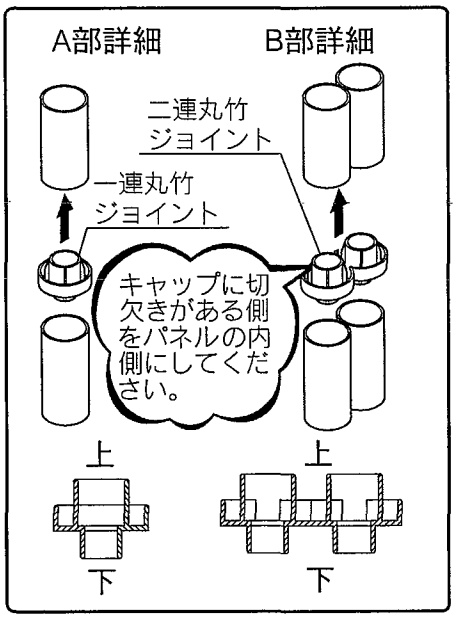


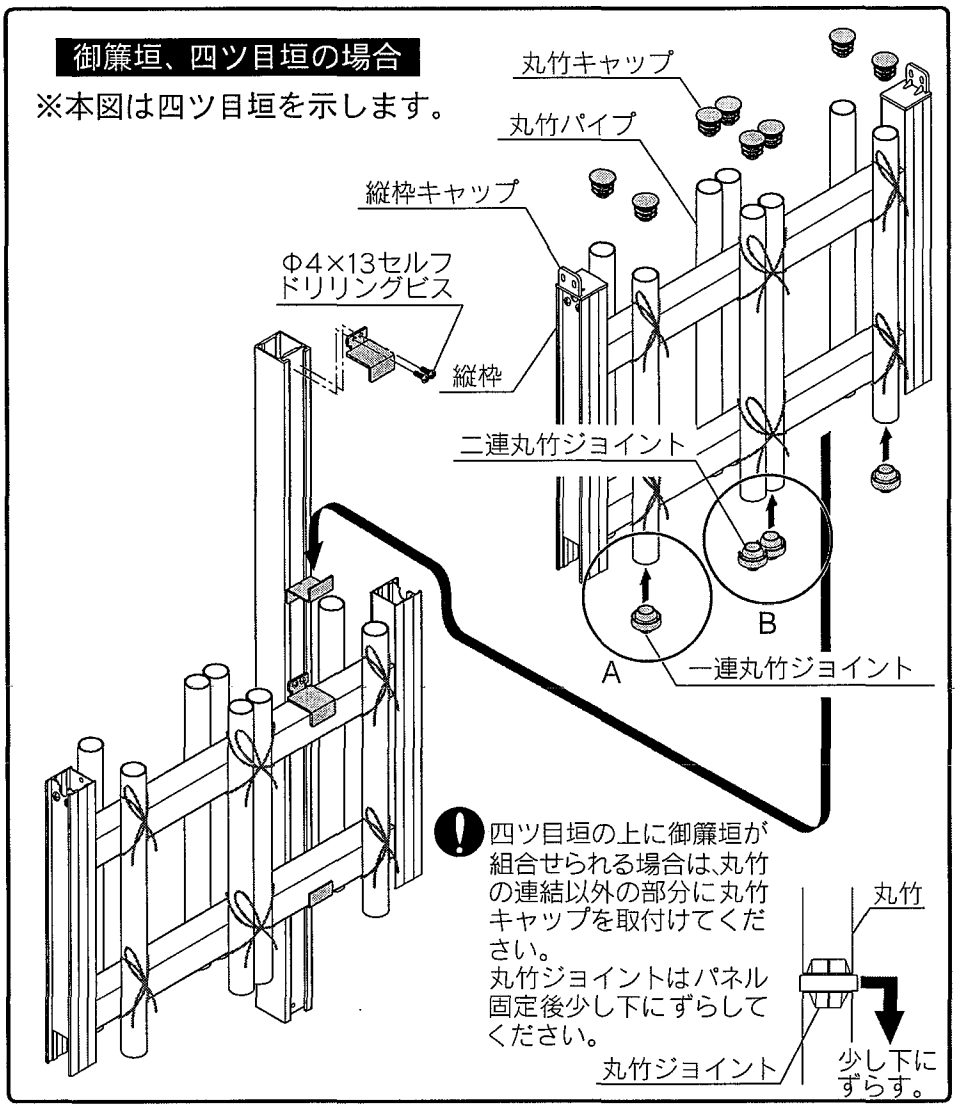
丸竹ジョイントおよび丸竹キャップの取付け

1) 図の様にパネルが2段になる場合には、丸竹ジョイントおよび最上段パネルには、丸竹キャップを取付けてください。

ポイント

丸竹ジョイントは、必ず先に上パネルに取付けてください。





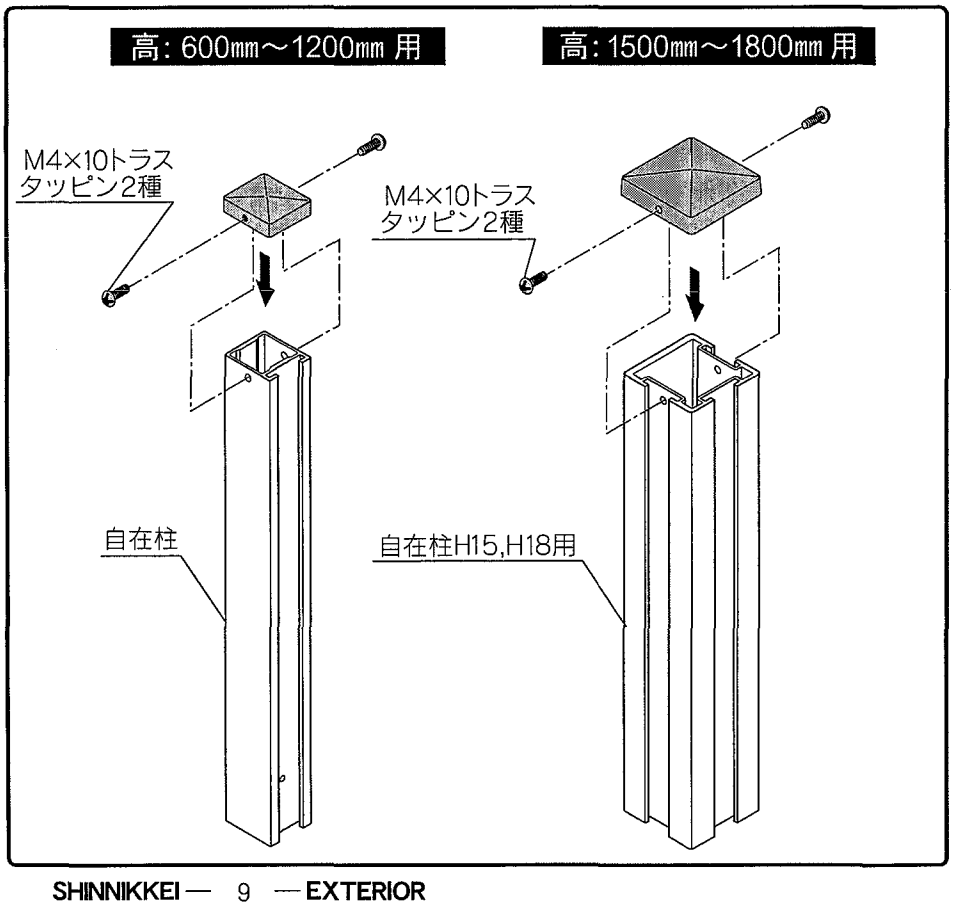
4 柱キャップの取付け

1) パネル本体を取付け終わりましたら、柱キャップを取付けてください。

柱キャップは、2種類あります。

高: 600㎜～1200㎜ 用

高: 1500㎜～1800㎜ 用



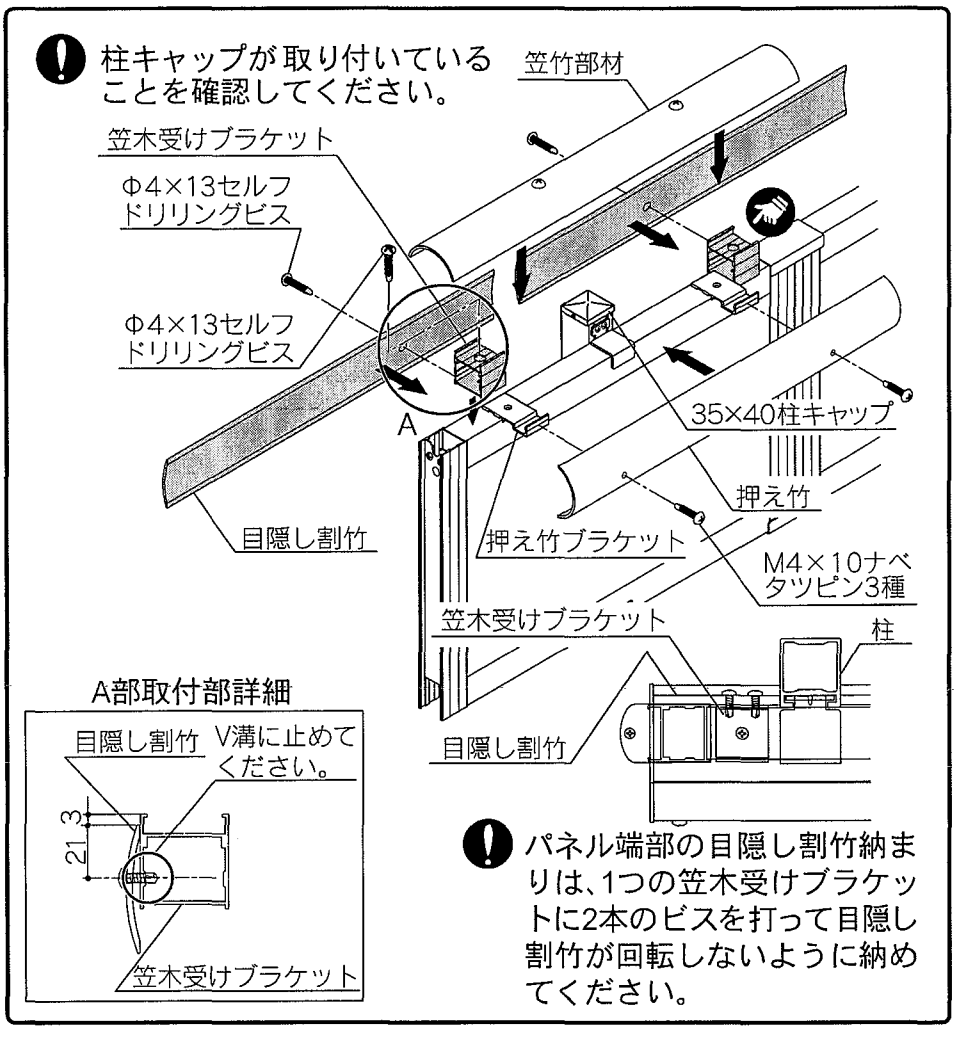
5 笠竹の取付け
（建仁寺垣・金閣寺垣）

笠竹は片面仕様のみとなります。

1)フェンスパネル上部横桟に笠木受けブラケットを取付けてください。

ポイント
笠木受けブラケットは、押え竹ブラケットに接するように取付けてください。

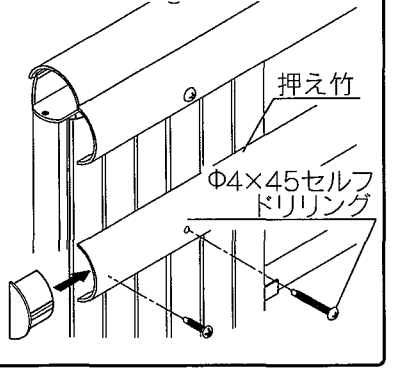
2) 押え竹を押え竹ブラケットにビス止めしてください。
3) 目隠し割竹をΦ4×13セルフドリリングビスにて笠木受けブラケットに取付けてください。取付けは、柱ピッチで取付けてください。目隠し割竹は、少し長い設定をしております。現場の状況で切断して使用してください。
4) 笠竹部材を笠木受けブラケットに取付けてください。笠竹部材はたたき込みになっていますので、上から押し込みますと取付けられます。

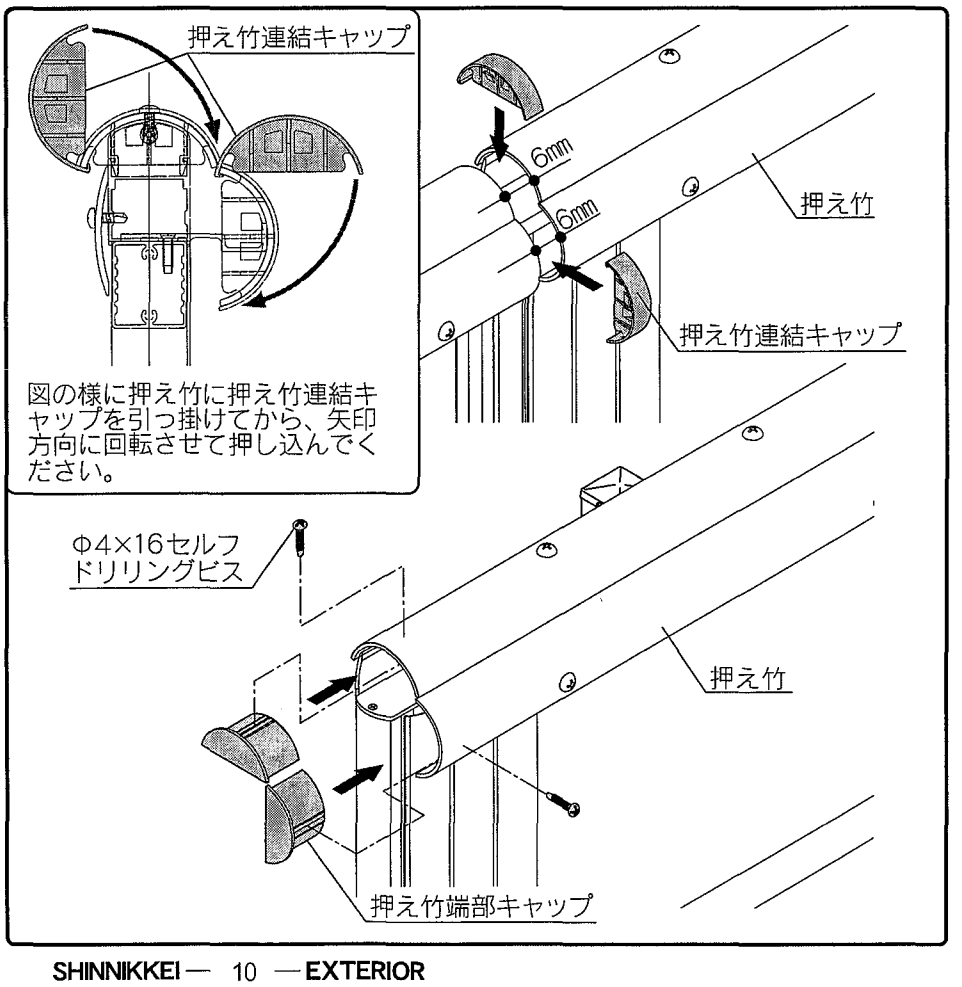


押え竹・笠竹の連結キャップ及び端部キャップの取付け

1) 押え竹・笠竹の取付け後、パネルを連結する場合は、連結キャップを取付けてください。パネル端部となる場合は端部キャップを取付けてください。

ポイント
押え竹の端部キャップから押え竹固定ビスが遠い場合は、押え竹固定ビスを端部から100㎜以内で取付けてください。ビスは、端部キャップセットに同梱されています。





6 フェンスの切り詰め

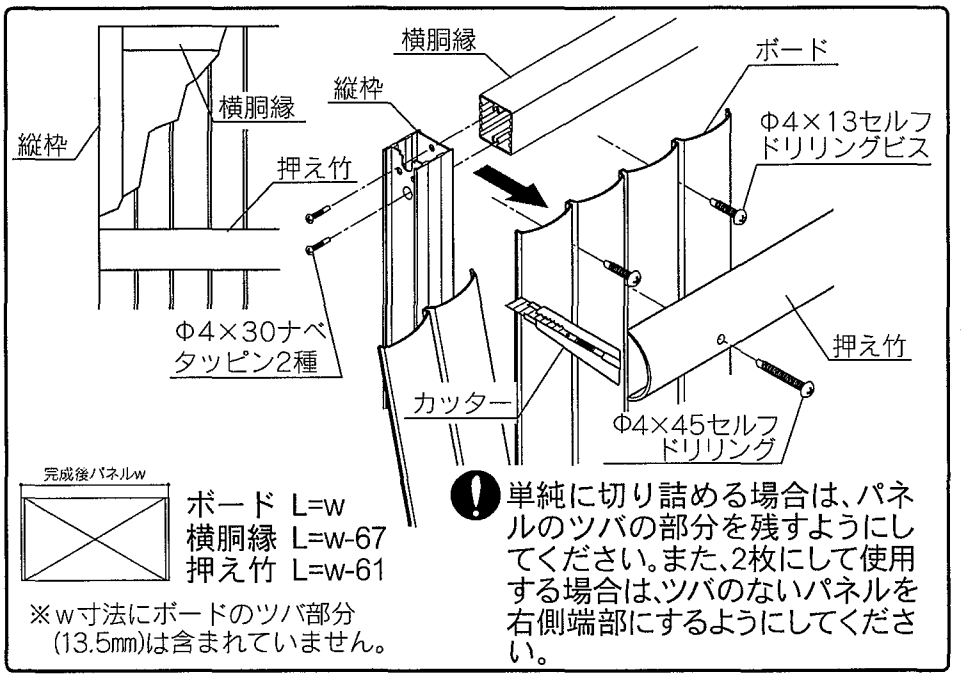
※切り詰め用端部カバーは、フェンスを切断し2枚にして使用される際に必要です。単純な切り詰め時は不要です。

建仁寺垣パネル

●パネル本体を切断可能な状態(ボードが外れる状態)まで分解してください。

ポイント
切り詰めはボードの溝ピッチ(P=53.6㎜)以外は不可。

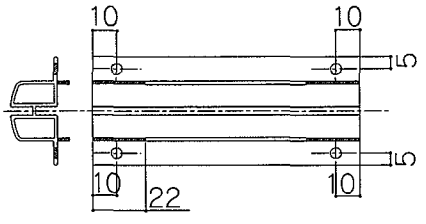
●付属のビスでパネル、押え竹を固定してください。(パネル固定ビスは必ず横胴縁のある所に打ってください。)

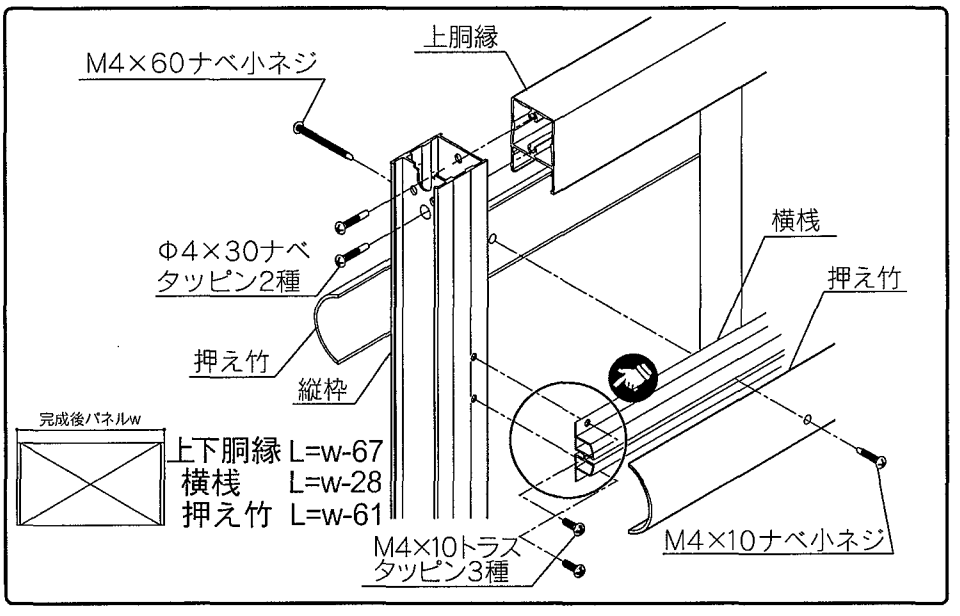


金閣寺垣パネル

●パネル本体を切断可能な状態(横桟と押え竹が外れる状態)まで分解してください。

ポイント
横桟は切断後、端部より10㎜の位置にΦ4.5の孔加工、及び端部より22㎜の位置で切り欠きをしてください。

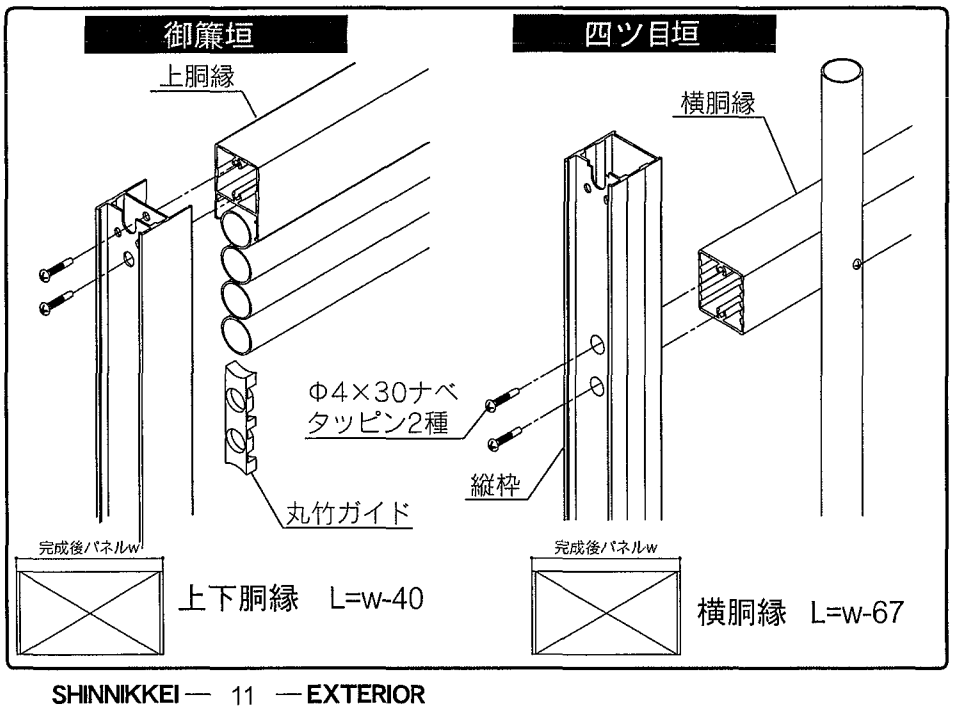




御簾垣、四ツ目垣パネル

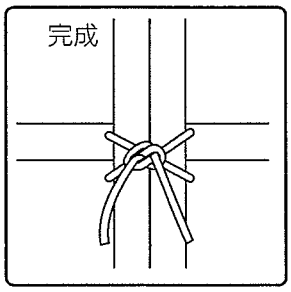
●パネルを樹脂パイプごと切断し、縦枠を取付けてください。(御簾垣の場合)
●横胴縁を切断してください。(四ツ目垣の場合)

ポイント
御簾垣の場合、丸竹ガイドをパネル丸竹にセットしてから縦枠に取付けてください。取付け位置は、シュロ縄の結びがある位置の丸竹です。

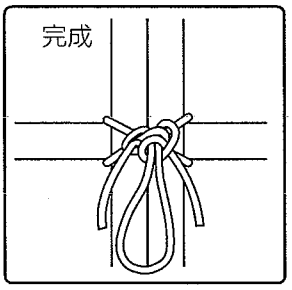


7 シュロ縄のむすび方

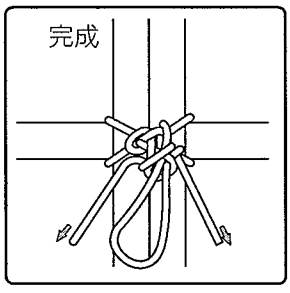
1) 男結び(大津垣、竜安寺垣)
①～④

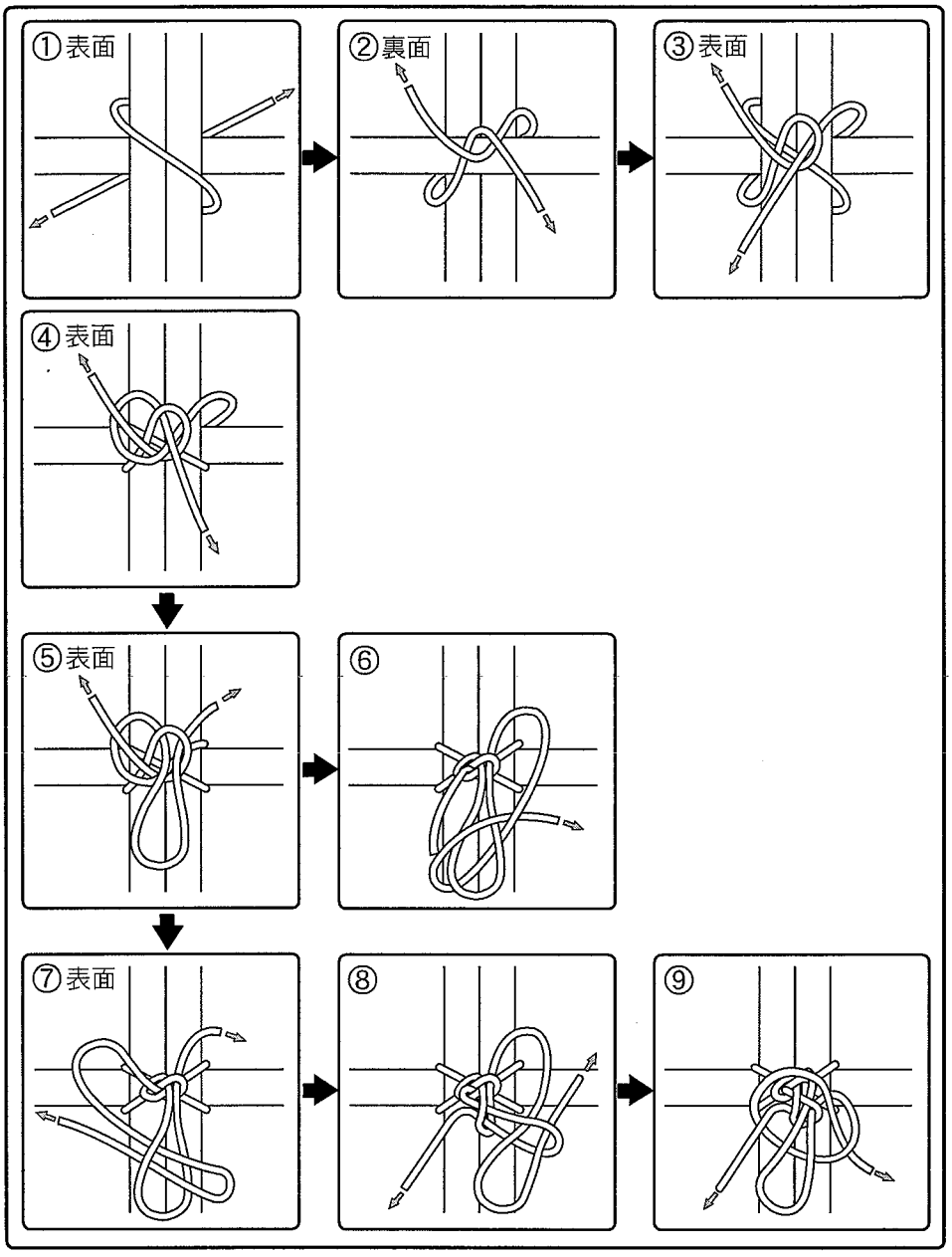


2) 飾り結び(建仁寺垣、御簾垣
四ツ目垣、清水垣)
①～④→⑤→⑥



3) 飾り三段結び(建仁寺垣笠竹、
竜安寺垣笠竹)
①～⑤→⑦→⑧→⑨





新日軽株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1（ゲートシティ大崎ウエストタワー）

お客様商品相談室
フリーダイヤル 0120-37-2534

東日本エクステリア支店 03-5759-2211
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
（ゲートシティ大崎ウエストタワー23F）
・市場開発課 03-5759-2210
・景　観　課 03-5759-2212

西日本エクステリア支店 06-6479-3232
〒564-0052 大阪府北区中之島3-2-18
（住友中之島ビル1F）
・市場開発課 06-6479-3233
・景　観　課 06-6479-3233

九州エクステリア支店 092-523-8890
〒812-0016 福岡市中央区高砂1-9-3
（六月田ビル1F）

札　幌　支　店 011-219-7511
東北住宅建材支店 022-297-3364
関越住宅建材支店 027-328-2881
関東住宅建材支店 03-3842-7123
長　野　支　店 026-224-2878
静岡住宅建材支店 054-289-6117
中部住宅建材支店 052-731-1911
大阪住宅建材支店 06-6390-1331
中四国住宅建材支店 082-544-4134
九　州　支　店 092-523-7488
特需営業総括部 03-5759-2503

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。